



〔問①〕今回、流しそうめんのギネス世界記録でといとして加工した竹は何本ですか？

答え 【 _____ 】

〔問②〕竹田の特産品を使った3色のユニークな麺が使われました。どんなものが材料になりましたか？

答え 【 _____ 】

〔問③〕ギネス世界記録に認定されるために流れ着かないといけないそうめんの規定量は何グラムですか？

また、今回の挑戦では何グラムがゴール地点に流れ着きましたか？

答え 【 _____ 】

〔問④〕今回の挑戦を実現するため、地元住民を中心に千人以上のボランティアが関わりました。ギネス記録の達成に向けて作業に関わった人たちの思いを考えてみましょう。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

竹田の流しそうめん

4031.76メートルギネス認定



竹田市民らの有志が21日、同市久住町有氏で流しそうめんの距離のギネス世界記録に挑戦した。4031.76メートルの竹のといが組まれ、1回目を加工して組まれ、出発地は



湧水「一番水」近くの草原。下りの傾斜を生かして県道阿蘇くじゅう公園線を経由し、高丘神社付近まで続いた。麺は特産のトマト、カボス、ト



ウモロコシを活用した3色そうめんを使った。午前10時過ぎから開始。作業責任者の和田貴汰さん(24)は市内竹田町IIがひとつかみのそうめんを勢いよく流れる水に投入した。約1時間半かけて規定量の25メートルを回る約60メートルのゴール地点に到着。ギネス世界記録公式認定員のトラバリー・アイニさん(28)が記録達成を宣言した。有志や観覧者は「よっしゃ」と歓喜。地元の石原自治会長の吉野幸則さん(73)、公代さん(71)夫婦が麺を食べた。市内の母親団体「竹姫」が中心になって企画し、ボランティアら延べ千人以上が関わってきたという。竹姫の安倍美緒代表(43)は「水や竹、広大な土地など竹田の素晴らしい財産を用いた挑戦だった。企画を通して、子どもたちが夢を語る町になればと話した。(指原祐輔)

(写真は上から) 出発地で記録に挑むそうめんを流す和田貴汰さん、約4メートルのといを流れ下るそうめん、ゴールに到達したそうめんを計量する主催者ら＝21日、竹田市久住町、撮影・江藤成吾